

令和2年度 第1回学長選考会議議事要録

日時	令和2年6月26日（金） 11時40分～13時15分
場所	第一会議室（事務局管理棟3階）
出席者	井岡委員、清水委員、松本委員、村岡委員、野村委員、渡邊委員、黒子委員、高田委員、小路田委員
列席者	酒居監事、福田監事
事務局	岩阪事務局次長／総務・企画課長、荒堀総務・企画課課長補佐、竹内総務・企画課総務係長
議長	村岡委員

議事に先立ち、前年度の議長である高田委員より、前回会議記録（令和2年3月16日～26日開催（書面審議））の確認があった。引き続き、今年度の議長の選出について発言があり、互選により村岡委員を議長に選出した。

審議事項

1. 令和元年度実施の学長の業務執行状況の確認について

議長から、令和元年度に実施する平成30年度の学長の業務執行状況について、改めて意見聴取があった。

委員から、各委員からの指摘内容と評価されている内容に関する記載を両論併記とするよう修正願いたい等の意見があり、種々意見交換した結果、文案を修正することを議長に一任し、次回の本会議で確認することとした。

2. 学長選考の手続きについて

議長から、令和2年度末で現学長の任期が満了するため、今年度実施する学長選考に向けて、必要に応じて学長選考関連規程等の見直しを行った上、奈良女子大学長選考基準を定める必要があるとの説明があった。

委員より、学長の任期について、現在は学長の任期は4年であるが法人統合後はどうなるのかと質問があり、追加配付資料により、今回選出される学長は法人統合前までの令和4年3月31日までの任期となることを確認した。

学長に求められる資質・能力をどのようにまとめていくかについて意見交換があった。議長より、全体としては、本学としてどういう方向で物事が進むのか、その上でそれを進められる人になってもらうというのがイメージだ。そして進めていくのに相応しい能力をもった人と定めていくことになるだろうが、抽象性と具体性のバランスのとれたところで学長のあるべき姿を示していくのではないかと考えているとの説明があった。今後何回も議論を重ねていきたいこと、今後は具体の選考（案）も示しながら議論を進めていきたいとの発言があり、次回以降の本会議で継続して検討することとした。

3. 令和2年度実施の学長の業務執行状況の確認について

委員から、第3期中期目標・中期計画期間の5年目となるので、判断根拠となる資料を追加するのであれば、「学長の選考及び解任手続きに関する規程」第8条を改正すべきではないかとの意見があった。

議長から、規程改正の必要も含め、次回以降の本会議で議論をしたいとの発言があり、継続して検討することとした。

4. その他

議長から、学長選考を行う年であるため、今後月 1 回程度の定例開催日を設けたいとの提案があり、各委員の都合を改めて照会することとした。

以 上